

梅若会定式能

能 隅田川

小田切康陽
松山 結美



能 雲林院

梅若長左衛門



平成三十年四月十五日(日)

午後一時開演(正午開場)

梅若能楽学院会館

自由席 七、〇〇〇円

能
松山 結美
小田切康陽

狂言
八句連歌

仕舞

昭 賴 嵐

山 政 君

《休憩十五分予定》

雲
林
院

梅若長左衛門

間中村修一

大日方寬

亀井 俊一	佃 良勝
松田 弘之	桜井 均

後見	
山本	隆雄
山本	博通

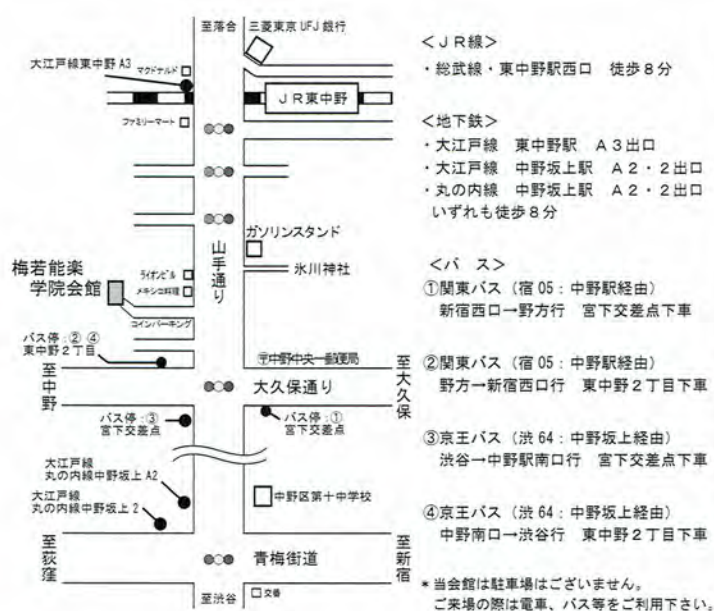
鷹尾	雄紀	井上	燎治
小田切亮磨	梅若	紀彰	
川口	晃平	角当	行雄
山中	迂晶	角当	直隆

後見
松山
隆之
会田
昇

鷹尾	内藤	土田	河本
章弘	幸雄	英貴	望
山崎	梅若	山本	井上
正道	玄祥	博通	和幸

殿田 謙吉

國川 純
曾和 正博
藤田 次郎



〒164-0003 東京都中野区東中野 2-6-14
公益財団法人 梅若会 (梅若能楽学院会館)
TEL : 03-3363-7748 FAX : 03-3363-7749

『隅田川』武蔵の国隅田川で客を待つ渡守に、後から狂女が来ると旅人が教える。京の女で、人買いに我が子をさらわれ心乱れた母親である。女は渡守に『伊勢物語』の話を語り、業平の歌「名にし負はばいざ言問はん都鳥我が思ふ人はありやなしや」と詠じ感慨にふける。船上で渡守は、対岸の大念仏は一年前に人買いに連れて来られ病死した子供を弔うものであると教える。それが我が子梅若丸と知った女は嘆き渡守に墓へ案内を頼む。人々の念仏に混じり子供の声が聞こえてきて臆げに姿が浮かぶ。女が我が子を抱こうとすると白み行く空の下、子供の姿は消え去り、あとには草茫々の塚が残るのみであった。

『雲林院』摂津に住む芦屋の公光はある夜の夢で京都の雲林院で在原業平と二条后が伊勢物語を持つて佇む姿を見た。公光が雲林院を訪ねると満開の桜の花が目に映りそこで公光が桜の枝を一枝折りると老翁に咎められる。公光は古歌をもって老人に語りかけると老人もまた古歌で答える。公光が霊夢の話をすると老翁はここで一夜を過ごせばまた霊夢を見る事が出来ると言い残り夕霞の中に姿を消す。公光が老翁の言葉の通り花の木陰で夜を過ごす、ありし日の姿の業平が現れ伊勢物語の秘事を語る。そして業平は昔を思い起こし夜遊の舞を舞うが、夜明けとともにその姿は消え去る。

【観能チケットについて】

1. 自由席 7,000 円 指定席 8,000 円 学生席 3,000 円
2. 賛助会員券（定式能）および自由席をお持ちの方は 1,000 円プラスで正面のご希望のお席を確保いたします。
公演 1 週間前までにお電話にてご予約下さい。
準賛助会員券（梅流会）をお持ちの方は 1,000 円プラスで自由席にてご観能可能です。
3. チケットはお電話、またはファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上
お申し込み下さい。TEL 03-3363-7748 FAX 03-3363-7749)
なお梅若会ブログにても受け付けております。
(パソコン：<http://umewakanoh.exblog.jp/> 携帯：<http://mblog.excite.co.jp/user/umewakanoh/>)
詳しくはお電話にてお問い合わせ頂くか梅若会ブログをご覧ください。
4. 都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。
*ロビーにて軽食の販売がございます。皆様ご利用下さい。
- 写真提供：雲林院 前島吉裕
- 



写真提供：雲林院 前島吉裕